

指定管理施設モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市田平港シーサイドエリア活性化施設
	所在地	平戸市田平町山内免345番地15
	所管課	商工物産課
指定管理者	名称	平戸瀬戸市場協同組合
	所在地	平戸市田平町山内免345番地15
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化施設を利用した農水産物等及び飲食物の販売 ・活性化施設を利用した地域情報の発信 ・活性化施設の施設及び設備の維持管理
ホームページURL		https://setoichiba.com/
指定期間		平成31年4月1日～令和5年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日数(日)	351	351	344	351	349
利用者数(人)	456,624	452,011	367,930	368,986	372,928
前年度比(人)	456,624	▲ 4,613	▲ 84,081	1,056	3,942
前年度比(%)	112.1	99.0	81.4	100.3	101.1
利用料金(千円)					
前年度比(千円)					
前年度比(%)					

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	指定管理料	1,810	1,053	1,070	1,070	1,070
	料金収入					
	自主事業収入	913,610	918,559	765,612	771,644	863,089
	その他の収入				1,706	3,147
	計	915,420	919,612	766,682	774,420	867,306
支出	人件費	120,891	128,418	110,741	113,029	114,361
	維持管理経費	93,772	93,631	76,452	81,035	80,146
	自主事業経費	689,101	682,514	573,731	576,815	660,203
	その他の経費	298	1,005	12,440	0	240
	計	904,061	905,567	773,365	770,878	854,950
収支(収入-支出)		11,359	14,045	▲ 6,683	3,542	12,356

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
利用者へのアンケートは、用紙とペンを直売所サッカー台及びレストランテーブル上に常時備え付けており、利用者の生の声を吸収するツールとしている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
直売所及びレストランの利用に係る感想としては、概ね良好。特に、レストランについては、特に市・県外からのリピート客からの「魚がおいしかった」、「座席から見える景色と料理が素晴らしい」、「店内サービスに満足した」などの意見を多数頂いている。今後は、待ち時間の短縮が課題。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
新アゴ・新米祭。収穫祭、創業祭などのイベントを開催し、集客と併せてふるまいの実施により感謝還元を行うようにしている。また、You tubeを使い、瀬戸市場からの各種情報発信により来店客の誘致促進。今期6月～7月頃には、来店客400万人到達が見込まれ、記念式を行う予定である。

5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容
水道光熱費は、電気料金の高騰を主因として前期比+3,001千円の増加となった。これについては、補助金申請により一部補填が可能となった。費目ごとに節減意識をもって経費削減に取り組んだが、備品・設備関係は使用後10年を経過したものが多く、修理、保守等を余儀なくされた。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
収支状況は、コロナ禍3年目の年度であったが、人流の回復傾向もあり売上は前年比1割増加で推移した。今年度は、利益も相応に確保できる見通しとなったため平成30年度以来の生産者への手数料還元(1%)を実施した。今後も、地場の核企業体として収支の改善に努め地域経済の活性化と成長に貢献していきたい。

7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上
旬の素材を打ち出したイベントや還元債を実施するなど、広く地域の宣伝につながるとりくみが実施されている。回復傾向にある観光客の誘客に向け引き続き情報発信などに取り組んでいただきたい。一方、店内での販売促進なども取り組まれて思うので、合わせて独自の取り組みを強化してほしい。
経費削減の取組
業態の関係上、商品に影響する経費削減については困難であると思われる。小さな削減の積み重ねになると思うが、可能な範囲で引き続き取り組んでいただきたい。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・本来の集客に戻りつつあるが、市外流通への取引についてまだまだ回復できていないと推測している。 ・更なる売上向上のためには、店舗での販売促進に合わせた域外への取引獲得も重要だと考える。 ・独自の取引や地域商社と連携した域外流通を期待している。

総合評価

A

※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。